

後援会会報

〒065-0013 札幌市東区北13条東3丁目1番30号 TEL 011-741-1051 FAX 011-741-1077



事業報告 各種助成の実施について

学生関連助成の実施

2023年5月に新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」移行後、学内外において活発に活動する学生の姿が見られるようになりました。

今回は、体育祭やクラブ・ボランティア活動に取り組んだ学生の皆さんをご紹介します。

困難を乗り越え 良い体験ができた体育祭

栄養学科2年・体育祭実行委員長 岩佐 颯汰

今年度の体育祭は、数年ぶりの一日開催に加えて東区体育館での開催となり、役員一同張り切って準備をしていました。何度も東区体育館の担当者と話し合いを重ね、当日に向けて準備を進めていきました。打ち合わせの段階では問題なく行われる予定でしたが、当日は正直なところあまり想定していたとおりには進みませんでした。創立記念日と開催日との兼ね合いや、インフルエンザの流行や体調不良などの理由で、当日に競技参加者や葦の会役員が不足し運営が難しくなっていました。当日欠席者が多く出た分、

参加していた役員が精いっぱい動いてくれたおかげで、何とか運営をすることができました。普段実習や課題に追われ、忙しい人も多くいる中で開催に協力してくれた体育祭実行委員や葦の会の役員には、非常に感謝しています。

体育祭を終えたことで、仲間を頼ることの重要性を理解することができたと思います。私は、準備の段階ではあまり他の役員に仕事を振り分けることができませんでした。そのせいもあり、当日自分以外の役員はうまく動けなかったと思います。そんな状況の中、役員は指示を求め、積極的に動いてくれました。もっと早くから仲間を頼り仕事を振り分けておけば、より良い体育祭にできたのではないかと思います。

来年度の体育祭では、自分たちの良いところは参考にしてもらい、悪いところは同じ轍を踏まないようにし、より良い体育祭にしたいと思います。



クラブ活動

CLUB ACTIVITIES

たべてる

礼文ふるさとまつり

栄養学科3年 伊藤 優里



2023年8月12日に礼文島の町民活動総合センター「ピスカ21」で、「第42回礼文ふるさとまつり」が開催されました。その中で私達「たべてる」は、「ホッケの彩りそぼろ丼」と「天使特製イカバーグ」の二種類の商品を考案、販売しました。

ふるさとまつりへ参加するにあたり、礼文産の食材を使った減塩メニューを皆さんに食べてもらいたいと考え、天使大学卒業生で礼文町の管理栄養士である加茂静香さんと連携しながら、名産のホッケを使用した「そぼろ丼」と、イ

カとコンブを使用した「イカバーグ」を販売することになりました。また、これらを家庭でも作っていただきたいと考え、レシピを掲載したリーフレットの製作も行いました。

お祭り当日は午前中から調理を行い、その後販売員と調理員に分かれ、購入してくれた方々に出来立ての料理を提供できるようにしました。また販売の際は料理と一緒にリーフレットを配布し、会場で食べている方々には口頭でアンケートを行いました。料理が両方とも完売したこと、アンケートに答えてくれた方々の多くから「美味しかった」と好評いただいたことが非常に嬉しかったです。また、販売しているときに「わざわざ札幌から来てくれてありがとう」と声をかけていただき、島民の方々の温かさを感じました。

礼文島の方々に助けていただきながら、考案した料理を販売できたこと、また礼文島の美しい景色や文化を実際に見て学べたことが、かけがえのない経験になりました。



北の食物研究所

栄養満点！ カレー弁当開発！

栄養学科3年 北村 彩和



2024年1月19日から1月22日の4日間、北の食物研究所は、国分北海道株式会社様のご協力のもと、「1日の1/3の野菜が摂れるハンバーグカレー弁当」を商品開発し、札幌近郊のラルズグループ各店舗にて販売しました。

国分北海道株式会社様から、栄養バランスの良いお弁当開発のお話をいただいたのは、昨年6月頃。「憧れの商品開発ができる！」と、心がわくわくしたことを今でも覚えています。

約半年間、会議や試作を重ね、働く女性やサラリーマンをメインターゲットに、「満足感」「ヘルシーさ」の両方を兼ね備えた、北食自慢の「1日の1/3の野菜が摂れるハンバーグカレー弁当」が完成しました。開発にあたっては、栄養満点にすることと、実際に作りたいお弁当像に近づけることの両立の難しさを感じましたが、それ以上に、栄養について学ぶ私たちのアイデアが、皆さんに召しあがっていただける商品としてどんどん形になっていくよろこびを感じることができました。また、実際に店頭に並んだ際には、「おいしかった！」という声をいただき、とても嬉しかったです。

商品開発は、食に携わる者が一度は憧れることですが、全員が経験できるものではありません。大変貴重な機会をいただき、私個人としても、サークルとしても成長することができたと思います。



E f y

奥尻島なべつる祭り について

栄養学科3年 山崎 紗奈



今年度は現部員で2度目となる奥尻島での活動「なべつる祭り」に参加させていただきました。祭りでは、3月に開催したイベントに参加された方や次の活動を期待してくださる方に出会い、活動を続けることでつながりが広がる大切さを感じることができました。また、おいしさの感じ

方が人によって異なるので、来店される方のニーズに応える大変さを学ぶことができました。このような学びを得た一方で、地域の方々との積極的な交流の少なさや島への貢献に手応えがなく、地域活性化活動になっているのかという反省点もあります。「地域活性化」という結果が得られづらい活動であり、果たして実施する意義のある活動がきているだろうか、と、もどかしい気持ちにもなりました。人とのつながりを広げるという点で、今までの活動は決して無駄ではないため、これらの経験を糧に、来年度はさらに島の方々との関わりを増やし、奥尻島を知ってもらうきっかけづくりを私たちが行うことで、島をさらに活気あふれる地域にできるようメンバー一同努めていきたいと思います。



地区懇談会の開催

保護者の皆さまに大学を深くご理解いただく場である地区懇談会を札幌と旭川の2地区で開催いたしました。札幌地区以外での開催は2019年以来的の4年ぶりとなりました。

- 2023年9月9日(土) 11:30~15:00 ホテル クレセント旭川
- 2023年10月7日(土) 13:00~15:30 天使大学 6号館1階 6101講義室

後援会会長、後援会副会長、学長、看護学科長、栄養学科長をはじめ、天使大学同窓会や学科の支援教員が参加し、各学科長より授業概要および就職状況の説明が行われ、その後、希望された保護者様と個別面談が行われました。

来年度の開催につきましては、次号の会報(2024年7月発行予定)でご案内いたしますので、多くの保護者の皆さまのご参加をお待ちしております。

教育講演会への助成の実施

天使大学後援会では、保護者様のほか、地域住民のみなさまへの社会貢献活動として教育講演会の開催・助成を行っております。今年度は天使大学を会場として開催されました「第75回北海道公衆衛生学会」との共催により天使大学教育講演会（第75回北海道公衆衛生学会市民公開講座）を開催いたしました。

◆ 2023年度 天使大学教育講演会報告

栄養学科 准教授 坂 本 洋 子

2023年11月25日（土）天使大学体育館において、天使大学後援会助成による天使大学教育講演会を開催いたしました。この講演会は、例年11月頃に行われていますが、今年度は、第75回北海道公衆衛生学会の開催に伴い、北海道公衆衛生学会と天使大学後援会との共催により、2023年度天使大学教育講演会を実施いたしました。

東京都健康長寿医療センター研究所 副所長の藤原佳典先生をお迎えし「世代をつむぐ健康長寿の秘訣」というテーマのもと、世代間交流に伴う高齢者ボランティアによる絵本の読み聞かせを通じた健康長寿の秘訣についてご講演していただきました。

藤原先生は、「地域包括ケアシステムは籠城戦である」と歴史に例えられ、専門職がいる医療・介護（最後の砦）は内堀、住民主体の生活支援・介護予防は外堀であり、外堀がなく内堀だけでは3日で落城してしまうため、今こそ外堀となるサービスが重要である。そのサービスを守る担い手として高齢者に期待していくことは、高齢者の英知、思い、技、経験等を次世代に伝えることができ、世代間交流につながっていくとお話いただきました。また、住民主体の生活支援・介護予防においては、高齢者間で行うよりも多世代で行うプログラムを活用した方が効果的かつ効率的であるということでした。

高齢者のボランティアでは、まず、ボランティアを行うことに壁を感じている高齢者に対して、自身の介護予防につながることを伝えて参加を促します。ボランティアの内容は、子供から高齢者までの幅広い世代を対象とした絵本の読み聞かせです（現在は

一般介護予防事業として普及しています）。絵本は、主人公に高齢者が多い、メッセージ性がある、近隣の図書館で無料で借りることができる、生涯教育・世代間交流の宝庫である、という長所があります。読み聞かせをしているボランティアの方々の7割が複数年継続され、海馬萎縮の抑制効果があり、体力も維持されていたことが研究成果として報告されているそうです。

このように、多世代につむぐ健康長寿の秘訣について、藤原先生が行われている研究業務をわかりやすくご講演され、約190名の参加者が熱心にメモを取りながら聴講している姿が印象的でした。アンケートでは、「講義に来ている人だれもが対象の内容であったため、自分事のように感じ、聞きやすかった。」「日本の寿命が延びているからこそ、シニア世代と多世代の交流による健康寿命を延ばすことや、フレイル予防が大切だと感じた。」「身近なところで何かできないかと考える機会となった。」のようなうれしい感想もいただいております。

この度ご出席賜りました皆様には深く感謝申し上げます。次年度についても後援会会員の皆様や地域の皆様にお役立ていただける有意義な講演会を企画していきたいと思っております。



ご案内

卒業式（卒業証書・学位記 授与式）

日 時：2024年3月15日（金）

10時00分 開式

11時30分 終了予定

場 所：天使大学 体育館（2号館5階）

入学式

日 時：2024年4月2日（火）

10時00分 開式

11時00分 終了予定

場 所：天使大学 体育館（2号館5階）

※3月1日時点での予定

後援会総会

日 時：2024年4月2日（火）11時10分頃

場 所：天使大学 体育館（2号館5階）

議案予定：①2023年度事業報告および決算について
②2024年度事業計画（案）および予算（案）について
③天使大学後援会会則の一部改正について
④2024年度役員選出について
⑤その他

後援会会員の皆様には、総会にご出席いただき、事業等についてのご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。